

- 地 ひろおびNo.5:18
- ⑦ 川崎悟良(1984)ヒロオビミドリシジミを追って ひろおびNo.7:17
- ⑧ 黒田 収(1976)佐用郡の蝶・前年との比較 てんとうむし1&2:13
- ⑨ 相坂耕作(1980)姫路市の昆虫 てんとうむしNo.6:11
- ⑩ 山本広一(1971)兵庫県の蝶相 むしNo.3:5~6
- ⑪ 尾崎 勇(1984)兵庫県の蝶(2) 揖保川水系の蝶相 ひろおびNo.7:16~22
- ⑫ 蝶研出版編集部(1989)スーパー採卵術 蝶研出版(茨木市)
- ⑬ 井上 健(1972)兵庫県生野牧場において8月下旬ゼフを多数採集 昆虫と自然7(4):36
- ⑭ 田中 蕃(1980)森の蝶セフィルス 築地書店 東京
- ⑮ 京都大学蝶類研究会(1987)日本産蝶類239種類の記録(上) SPINDA(2):39
- ⑯ 京都大学蝶類研究会(1987)日本産蝶類239種類の記録 SPINDA(1):21
- ⑰ 木下賢司ほか(1996)但馬地域の産蝶目録Ⅱ IRATSUME(20):66~86
(HIROHATA MASAMI 姫路市白鳥台3-11-8)
(KONDO SHINICHI 神戸市西区岩岡町岩岡619-57)

ホソマダラシバンムシ神戸市内で採集

(兵庫県甲虫相資料・325)

高橋寿郎

1996年4月22日、当日は快晴であった。暫く4月にしては珍しく寒い日が続き、遅霜警報が出たりしていたが、この日は久方振りに日中気温が上昇、平年並み気温に近く17℃位にまでなったようであった。午後4時過ぎ頃、愚妻が日の当たっている洗濯物にこんな虫がいましたよと1頭の虫をもって来てくれた(元気に動きまわっていた)。他にも1頭とまっていたととのことであったが、結局1頭のみ標本にしてきて何という虫だろうと眺めてみてシバンムシの1種だとわかった(体長6.5mm)。

原色日本甲虫図鑑(Ⅲ) pl.23, f.1, p.140 に図説されているホソマダラシバンムシ *Xestobium shibatai* SAKAI だと同定した。そこで原記載(Trans. Shikoku Ent. Soc. Vol.14, No.3-4, p.131-132, Fig.1, 1979)を読んでみたが、この種に間違いないと判定した。原記載使用のものは群馬県菅沼産♀であり、原色日本甲虫図鑑(Ⅲ)にも分布は本州とのみあり、日本産昆虫総目録(1989)にも分布は本州とのみになっている。本州での分布状況はよくわからないが、少なくとも兵

庫県下からの記録はなかったと思うので、ここに記録しておきたい。ただし、洗濯物に飛来していたというだけではわが家の近所にこんな虫がいるのかどうか、大変興味のある点を残してくれたものである。

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

フタイロカミキリモドキを 南淡町門崎で採集

近藤伸一

フタイロカミキリモドキ *Oedemeronia sexualis* は四国、九州から南西諸島にかけて分布する南方系の昆虫で、県下では洲本市由良町、家島町、赤穂市生島と3例の採集記録がある。

本年、淡路島の南先端付近で、海に面して自生するトベラの花に、本種が多数見られた。

県下の分布の状況を御教示頂いた高橋寿郎氏に厚くお礼申し上げます。

三原郡南淡町福良丙(門崎)

3♂1♀ 24-V-1996 近藤伸一

(KONDO SHINICHI 神戸市西区岩岡町岩岡619-57)